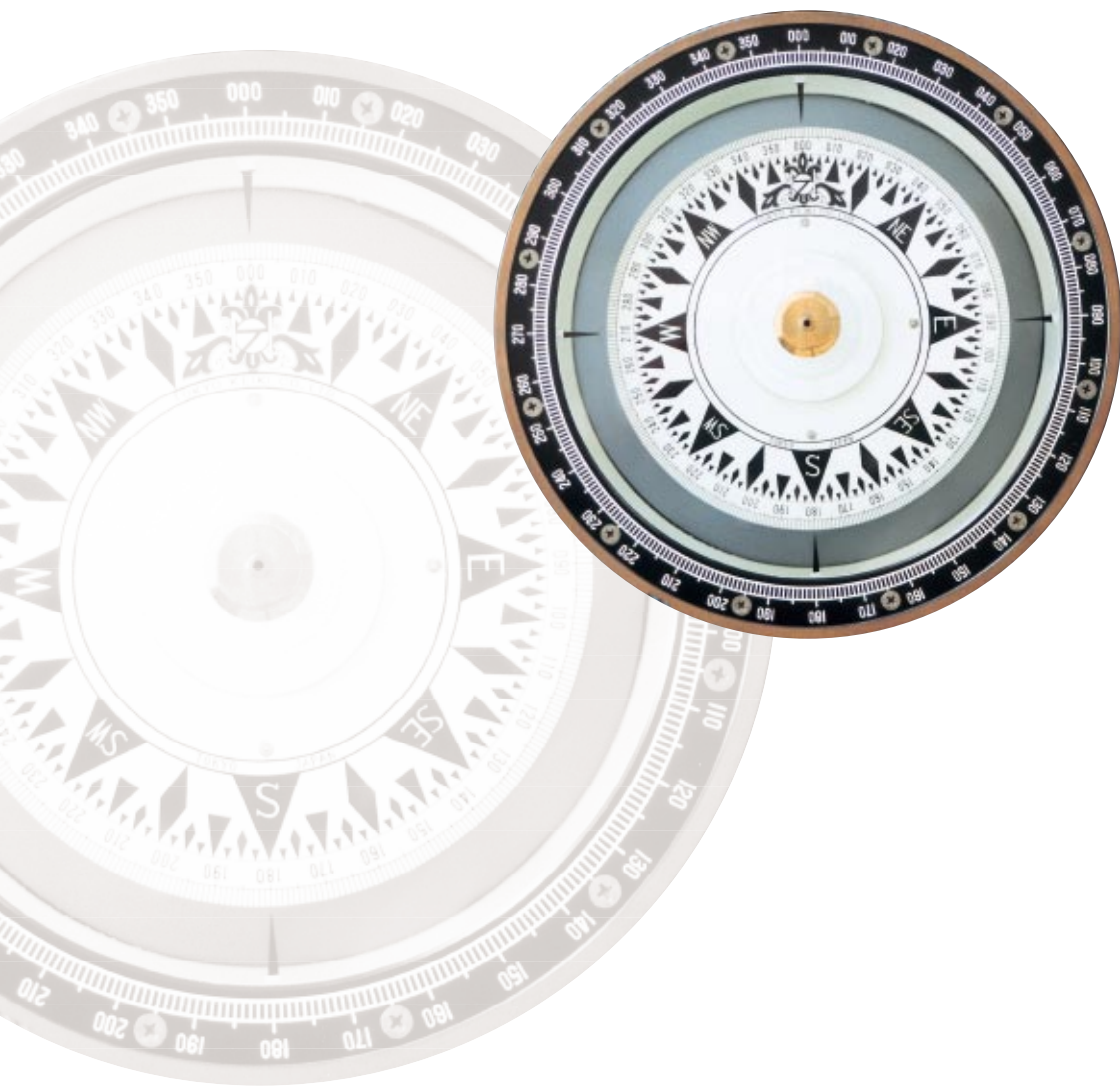


Lubber's Point

海上技術コース（航海・機関）
海上技術コース（航海専修・機関専修）



独立行政法人海技教育機構

海技大学校

“Lubber's Point”とは船のコンパスに取り付けられた船首、船尾、右舷、左舷方向を指示する4本の基線を意味する。自船の針路を読み、船が航海する為の重要な役割を担う。

海運界からの期待と信頼

海上技術コース

(航海・機関)

「海上技術学校」卒業生がプロの船員を目指し更なる知識・技術の向上を目指したコース

海上技術コース

(航海専修・機関専修)

「海上技術短期大学校」卒業生が船舶職員としてさらなる資質の向上を図るとともに船舶運航管理者に必要な基礎知識・技能の習得を目的とするコース

海技大学校には、上記コース以外にも様々なコースがあります。
年齢や経験、国籍を超えた交流ができ、充実した時間が過ごせます。

海上技術コース(専攻)

優秀な人材を安定的に確保するコース

一般大学等を卒業し、海運会社に雇用されている方を対象に、通信教育、座学及び乗船実習を効果的に組合せ、三級海技士の免許取得と実践力を養うコースです。

海技士コース(三級～六級)

船員のための海技資格取得コース

海技士免許の取得を目的としたコースで、幅広い年齢層の方が学ばれています。卒業者は国家試験のうち、筆記試験が免除されます。

水先コース

水先人養成コース

船舶の安全と安心を導く水先人の養成を行うコースです。

運航実務コース

船員の知識・技術向上のため
時代のニーズに即応したコース

新人から船長・機関長といったベテランまで、あらゆる段階の船員が「技」を磨くコースです。シミュレータ等の機器を活用した訓練が行われます。

海事教育通信コース

海上勤務を続けながら学べるコース

通信教育で、海技免許取得を目指すコース及び基礎から海事知識を学ぶコースがあります。

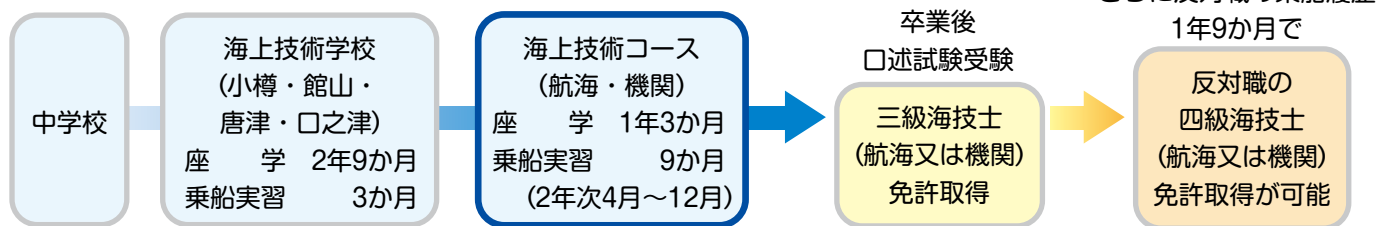
国際協力コース

世界の海技者を育成

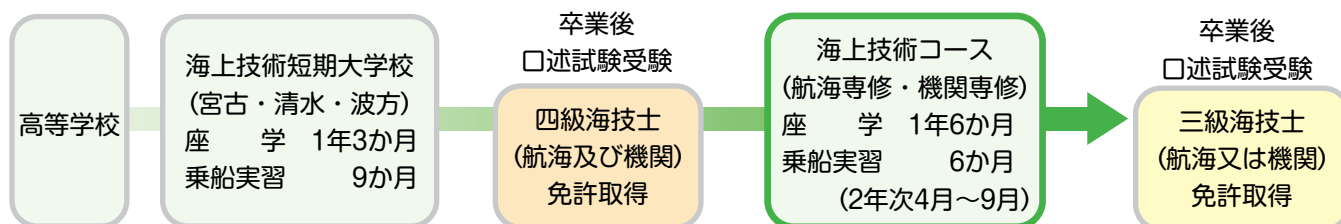
開発途上国におけるハイレベルの船員や海事教育者を育成するコースで、世界規模で船舶の安全運航や環境保護等を図ります。

コースの流れ

海上技術コース（航海・機関）



海上技術コース（航海専修・機関専修）



卒業時の特典・資格取得

- 三級海技士（航海・機関）国家試験のうち、筆記試験が免除されます。
- 海技免許に加え、
 - ・第一級海上特殊無線技士の資格を取得できます。（海上技術コース（航海））
 - ・乙種危険物等取扱責任者資格を取得できます。（希望者）

カリキュラム 基本から応用へ

- 1 船舶職員としてプロの自覚と能力の涵養
- 2 自己管理能力の育成
- 3 シミュレータ訓練等による実践力の強化
- 4 視聴覚教材の活用
- 5 船舶運航管理に関する知識・技能の取得※

※海上技術コース（航海専修・機関専修）

海上技術学校及び同短期大学校における航機両用教育を基に、多角的な専門分野の習得を通じて創造的能力の涵養と教養豊かな人材育成を目指します。

航海コース

航海	運航実務基礎
運用	運航実務
法規	特別研究
海事英語	船舶管理※ ¹
海上通信	

※¹ 海上技術コース（航海専修 又は 機関専修）のみ受講

※² 海上技術コース（機関）のみ受講

※³ 海上技術コース（機関）は選択科目

機関コース

機関学Ⅰ	コンピュータ
機関学Ⅱ	専門基礎
機関学Ⅲ	保健体育衛生
執務一般	学内船舶実習
シミュレータ実習	機関・工作実習※ ²
海事英語	機関実務教育実習※ ¹
システム管理	特別研究※ ³

航海コース

操船シミュレータ

大型タンカーやコンテナ船、自動車運搬船など、まさに実船さながらのブリッジ。景観も、東京湾やシンガポール海峡など実際の海域を忠実に再現しています。シミュレータでは同じ状況下での訓練が繰り返し行えるだけでなく、非常時の対処訓練が可能です。



GMDSSシミュレータ

「GMDSS」とは、「全世界的な海上遭難安全システム」の意味です。従来、通信士が行っていたモールス信号による通信手段に取って代わり、航海士、船長、機関士、機関長がこのシステムを用いて通信を行うことになりました。



レーダ・ARPAシミュレータ

レーダ・ARPA（自動衝突予防援助装置）、ECDIS（電子海図情報表示装置）、AIS（船舶自動識別装置）の操作に習熟するための訓練を行うシミュレータで、実際の船橋と同様の機器が装備されています。また複数のブリッジや視界再現装置、タグボートの操縦装置も装備しているため多彩な訓練が可能です。



技とハイテクの融合「こんな

海技丸実習



練習船「海技丸」は小型船ながら現場を知るための強い味方。航海・機関共に、大阪湾や瀬戸内海で実習を行います。



揚投錨訓練

機関コース

機関室シミュレータ

※平成22年度改修予定

主機関等は実船と機器を模擬した設備が装備され、リアルな運転音と共に、臨場感あふれる環境が再現されます。

トラブルシューティングの訓練も、危険を伴うことなく実施できます。初心者はもちろん、上級の現役マリンエンジニアの技能の維持、向上にも対応する機器です。



ディーゼルエンジン

現在、船用主機のほとんどを占めるディーゼルエンジン。実際にそれを運転・操作することにより機関システムの理解を深めることができます。また、ガスタービンに関する基礎的な学習も行います。



蒸気タービン実習装置

LNG船等に搭載される蒸気タービンは、実物を見たり運転操作を実際に行う機会がありません。この装置では小型ながら主機タービンとしての遠隔運転の実習が可能です。

授業が受けたかった！」



荷役実習



帆走訓練



カッター実習

問題解決の喜び

特別研究

通称「トッケン」。教員のアドバイスを受けながら自分の興味のある一つのテーマについて、自主的に調査・研究を行います。論文を完成された時の達成感・満足感と共に一回り大人になった自分が…



情報処理

今や船舶職員に欠かせない存在。コンピュータ、OS及びアプリケーションソフトの取扱いを通して航海・機関の各実務に必要なデータ処理、作図能力を養います。



英会話

英会話の授業はネイティブスピーカーの教員が担当します。少人数で授業を受けることが上達への近道です。クラスの人数が多い場合は、2グループに分かれて簡単な会話から始めます。今まで英語が苦手だった人も、好きになるチャンスです。



学生寮

学生寮はキャンパス内にあり、鉄筋5階建、冷暖房設備を備えています。居室の他に食堂、浴室、診察室、談話室、娯楽室、自習室、洗濯室、売店等があります。女性専用区画も設けられています。



じっくり学べる環境

少数精鋭



厳しい中にも
温かいふれあい



クラブ活動

カッター部や野球部などあります。自分達でやってみたいことがあれば、新しく部をたちあげることもできます。



外国人研修生

開発途上国の商船教育機関卒業生、船員及び海事関係者を対象にしたコースもあり、さまざまな交流があります。



図書室

海事関係の図書、雑誌を中心に4万冊以上の資料が、電動式移動書架に収納されています。インターネットで情報収集もできます。

体育館・講堂

体育の授業（機関・機関専修のみ）はもちろん、放課後はバスケットボール、バドミントン、フットサル等を楽しむことができます。

入学式や卒業式の時には、この空間が可動式装置で講堂に早変わりします。



